

「日本における女性管理職登用の促進方法」

森永専門ゼミナール第 2 部

経済学部経営学科 3 年

伊藤 千紘 ・ 上村 真央 ・ 田村 悠真 ・ 深澤 光 ・ 森 大虎

論文要旨

日本は女性リーダーが少なく、女性管理職割合は国際比較すると著しく低いため、社会的に大きな問題の一つである。政府は女性管理職割合を上げるための目標を約 17 年前から立て続けてはいるものの、女性管理職割合は直近 10 年間で 1.7 ポイント程度の微増で推移している。この状況を脱却するためには、女性活躍推進や女性管理職登用の具体例や進め方を提示する必要があると考えられる。

本研究では、女性活躍推進や女性管理職登用を積極的に行い、女性管理職割合増加の実績を残している企業の具体的な進め方や取り組みを解明し、今後の日本の女性活躍推進や女性管理職登用に寄与できる研究を行うことを目的とする。調査結果をもとに、女性活躍推進や女性管理職登用の進め方は容易に一般化できるものではなく、企業が置かれている状況を鑑みて方法を選択する必要があると考察した。その中でも、どの進め方や方法が日本の現状に合っているのか勘案し、提示した。また、より効果がある取り組みとその重要性についても熟考し、現状の女性管理職登用における促進要因に追加できる項目「継続的な経営トップの働きかけ」とを導き出した。

今後の女性管理職研究に対しては、女性活躍推進や女性管理職登用の進め方のロールモデルや促進要因をもとに実践と改良を行うことが求められる。